

昭和30年における平均賃金の推移

常用労働者一年間の平均賃金

県調査企画課で所管している毎月勤労統計調査の結果を総合すると、昨年1年間における常用労働者の平均賃金の最高は、金融および保険業の男子30,491円、女子13,476円で、最低は男子の建設業10,689円、女子では紡織業の5,279円である。これは総数平均で16,750円(男18,774円、女7,996円)で、29年の平均16,380円に比べ、370円(2.3%)の増加となっている。特に目立っているのは、運輸通信業およびその他の公益事業の585円増と食料品製造業の139円減である。

		総 数	男 子	女 子
総 数		16,750	18,774	7,916
鉱 業		14,977	15,885	6,151
製 造 業		15,694	18,621	6,849
食 料 品 製 造 業		13,651	15,792	5,677
紡 織 業		6,825	13,487	5,279
機 械 製 造 業		13,944	14,715	7,856
電 気 機 械 製 造 業		19,017	19,361	7,714
卸 売 及 び 小 売 業		15,119	16,765	7,754
金 融 及 び 保 険 業		24,617	30,491	13,476
運 輸 通 信 業 及 び そ の 他 の 公 益 事 業		19,645	20,665	11,845
建 設 業		9,870	10,689	5,587
医 療 及 び 保 険 業		16,520	23,813	11,625

各 月 別 現 金 給 与 額

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
さ ま づ け 給 与 支 給	総 数	14,552	14,410	14,573	14,632	14,514	14,501	14,712	14,655	14,738	14,566	14,703	14,917
	男 子	16,206	16,009	16,191	16,327	16,235	16,246	16,492	16,400	16,530	16,431	16,543	16,791
	女 子	6,840	6,861	6,852	6,694	6,605	7,056	7,075	7,067	7,001	7,041	7,235	7,293
特 別 に 支 給 払 与	総 額	1,704	18	699	210	35	2,753	6,449	941	495	85	157	11,976
	男 子	1,887	20	732	240	40	2,993	7,485	1,048	506	94	183	13,655
	女 子	849	9	543	69	12	1,727	2,001	478	446	47	51	5,145
合 計 給 与 額	総 額	16,256	14,428	15,272	14,842	14,549	17,254	21,161	15,596	15,233	14,651	14,860	26,893
	男 子	18,093	16,029	16,923	16,567	16,275	19,239	23,977	17,448	17,036	16,526	16,726	30,446
	女 子	7,685	6,870	7,395	6,763	6,617	8,783	9,076	7,545	7,447	7,088	7,286	12,438

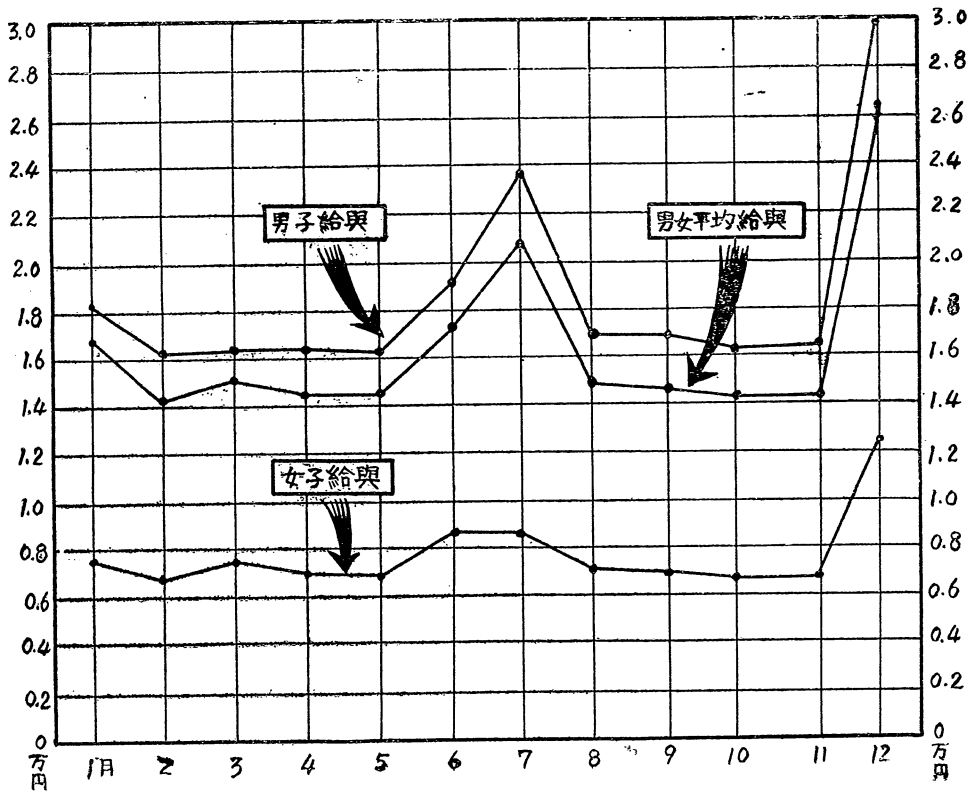
1. 平均賃金の推移

◎現金給与増加率は鈍化

本年の常用労働者の年間平均賃金16,750円は29年の平均賃金 16,380円にたいし370円の増加となつた。これは29年の445円の増加に比べてやや鈍い増加である。

製造業も15,694円の 214円増と低い増加率である。この様に現金給与総額の傾向にたいしきまつて支給する給与の傾向を見ると総数で1,665円増、製造業で643円増と何れも現金給与総額より高い増加率を示しているのが注目される。

全産業平均男女別給与表



各 月 別 労 働 時 間 数

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
所労働 定時間 内数	総数	168.7	174.1	170.7	177.8	167.3	180.5	180.2	181.6	182.4	180.2	178.0	181.7
	男子	169.5	174.5	174.3	177.9	168.1	180.4	180.0	181.5	183.0	180.3	177.6	181.5
	女子	165.0	172.2	171.1	177.7	163.6	180.9	180.9	182.2	179.8	179.8	179.6	182.5
所労働 定時間 外教	総数	14.6	13.5	13.9	13.5	14.0	15.0	15.7	15.8	16.8	17.0	17.9	19.1
	男子	16.5	15.3	15.7	15.4	15.9	17.1	18.7	18.0	19.3	20.1	20.7	22.0
	女子	5.7	4.6	5.4	5.0	5.3	6.1	8.1	6.3	6.2	6.0	6.5	7.5
総時 実間 労働数	総数	183.3	187.6	187.6	191.3	181.3	195.5	196.9	197.4	199.2	197.2	195.9	200.8
	男子	186.0	189.8	190.0	193.3	184.0	197.5	198.7	199.5	202.3	200.4	198.3	203.5
	女子	170.7	176.8	176.5	182.7	168.9	187.0	189.0	188.5	186.0	185.8	186.1	190.0

2. 雇用傾向と労働異動

◎労働異動も低調

昭和30年中における増加労働者は10,210人、減少労働者は9,695人で515人の増加である。昨年の990人増に比べて増加率も低く増減人数も減少した。新規就職者の急増する4月においても昨年は2,303人で本年は1,385人と40%の減少した。また労働異動について見ると昨年は極めて活発に行われたが本年は各月とも減少した。特に離職者の増加する12月の減少労働者数は29年1,373人、30年647人と減したことは本年の特色である。12月推計労働者は総数64,012人で10,418人増、男子は51,377人で7,284人増、女子は12,635人で3,141人増になった。これは5月に調査事業所の選定替を行なったことも増加の理由となっている。

各 月 別 減 少 増 加 労 働 者 数

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
本労働 月の 増加数	総数	508	378	569	1,385	846	921	1,173	1,005	955	469	1,090	911
	男子	399	320	413	673	636	671	861	606	607	715	862	615
	女子	109	58	156	712	210	250	312	399	348	254	228	296
本労働 月の 減少数	総数	713	749	965	781	1,131	896	1,058	811	863	190	891	647
	男子	493	517	706	567	821	630	707	549	584	666	632	420
	女子	220	232	259	214	310	266	351	262	279	324	259	227
月労働 者 末数	総数	53,389	53,018	52,622	53,226	63,145	63,168	63,284	63,478	63,570	63,549	63,748	64,012
	男子	44,001	43,806	43,522	43,663	50,558	50,588	50,772	50,999	51,038	50,953	51,182	51,377
	女子	9,388	9,212	9,100	9,563	12,587	12,580	12,512	12,479	12,532	12,596	12,566	12,635